

「次世代浸炭技術研究部会」設立のお知らせと参加者募集

ガス浸炭処理や真空浸炭処理は鉄鋼材料の高強度化を目的として、幅広く利用されている技術です。特に環境問題や作業環境に関する観点から新しい浸炭技術として真空浸炭処理が利用され始めています。一方で、真空浸炭処理にも課題があることや、より環境にやさしく作業環境に優れる次世代浸炭技術が今後必要になると予想されます。

このような背景から真空浸炭に関する課題の洗い出しや過去の研究レビューを通じ、「課題の発見」とそれを解決するための「キーファクター」を明らかにするとともに、グループ討議や実験等による次世代浸炭技術の模索が必要だと考えました。このような観点から「至近の熱処理技術と特性」（高橋学部長、2020～2021年度、のちに1年間の期間延長）研究部会の設置が承認され、「次世代浸炭技術とそのキーファクター」グループが設けられました。このワーキンググループでは若手～中堅技術者を中心として活動を行ってきました。これまでの活動において真空浸炭における課題の洗い出しが一段落し、次のステップに進めるところまで進んでいます。また、議論のなかから生まれた「真空浸炭ハイブリッド技術の表面改質効果」も短期目標として設定をしています。

この度、本ワーキンググループを基礎として、より広範な活動を持続させるため、「次世代浸炭技術研究部会」を設立することになりました。所属や年齢を問わず、研究者や技術者はもちろん、関心のある方のご参加をお待ちしています。

【活動期間】

2023年4月～2025年3月

【活動内容】

年3回の勉強会および研究進捗報告会を開催し、次世代浸炭技術に関する議論や研究課題の紹介と、短期目標として設定した「真空浸炭ハイブリッド技術の表面改質効果」に関する研究進捗報告を行い、議論を深めます。これに加え、工場見学等を通じ現場での作業や課題について議論を行います。

【発起人】

南部 紘一郎（大阪産業大学）

【参加資格】

正会員あるいは維持会員所属の方。非会員の方でも、参加後にご入会いただければ参加可能です。

【参加希望者の申し込み方法】

参加希望者は協会事務局に申し出を行ってください。

申込先：日本熱処理技術協会事務局 e-mail: jsht-honbu@jsht.or.jp

参加希望者の氏名、所属、連絡先（含む e-mail）を記入ください。

※メールのタイトルに「新研究部会（次世代浸炭技術）参加希望」と記入ください。